



処方箋医薬品：注意- 医師等の処方箋により使用すること
胆汁排泄型持続性AT₂受容体ブロッカー
日本薬局方 テルミサルタン錠

テルミサルタン錠 20mg「EE」

●効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

成分名	テルミサルタン	規格	20mg 1錠	診療報酬上の区分	後発品
含量・性状	1錠中にテルミサルタン20.0mgを含有する白色～微黄白色のフィルムコーティング錠である。				
添加物	カルナウバロウ、軽質無水ケイ酸、酸化チタン、ステアリン酸ポリオキシシル40、ステアリン酸マグネシウム、ヒドロキシプロピルセルロース、ヒプロメロース、マクロゴール6000、D-マンニトール、メグルミン				
承認年月日	2017年2月15日	薬価収載日	2017年6月16日	発売年月日	2017年6月16日
貯法	室温保存、開封後湿気を避けて保存すること。			薬価基準収載医薬品コード	2149042F1041
製造販売元	エルメッド エーザイ(株)	販売提携	エーザイ(株)		
製剤の特徴	錠剤両面に成分名・含量・屋号を印字した白色～微黄白色の円形のフィルムコーティング錠である。				

包装・容量
100錠 (PTP)
140錠 (PTP)
500錠 (PTP)
700錠 (PTP)
500錠 (バラ)

識別コード	外形		
	表	裏	側面
テルミサルタン 20 EE			
	直径 (mm) 約6.1	質量 (mg) 約87	厚さ (mm) 約3.0

〈安定性試験結果〉

試験方法	保存条件	包装形態	保存期間	測定項目	結果
加速試験	40℃・75%RH	・ PTP包装品 (PTPシート及び乾燥剤をアルミニウム袋に充てんし、紙箱に入れた状態) ・ バラ包装品 (錠剤を乾燥剤入りのポリエチレン容器に充てんし、紙箱に入れた状態)	6ヵ月	性状 確認試験 製剤均一性 溶出性 含量	いずれの測定項目とも規格値内であった。
長期保存試験	25℃・60%RH		12ヵ月 (継続中)	性状 確認試験 純度試験 製剤均一性 溶出性 含量	
苛酷試験	熱に対する安定性	40℃	3ヵ月	性状 純度試験 溶出性 含量 硬度*	
	光に対する安定性	1000lx (120万lx・hr)	50日		
	湿度に対する安定性	25℃・75%RH	3ヵ月		

*参考試験



処方箋医薬品：注意- 医師等の処方箋により使用すること
胆汁排泄型持続性AT₁受容体ブロッカー
日本薬局方 テルミサルタン錠

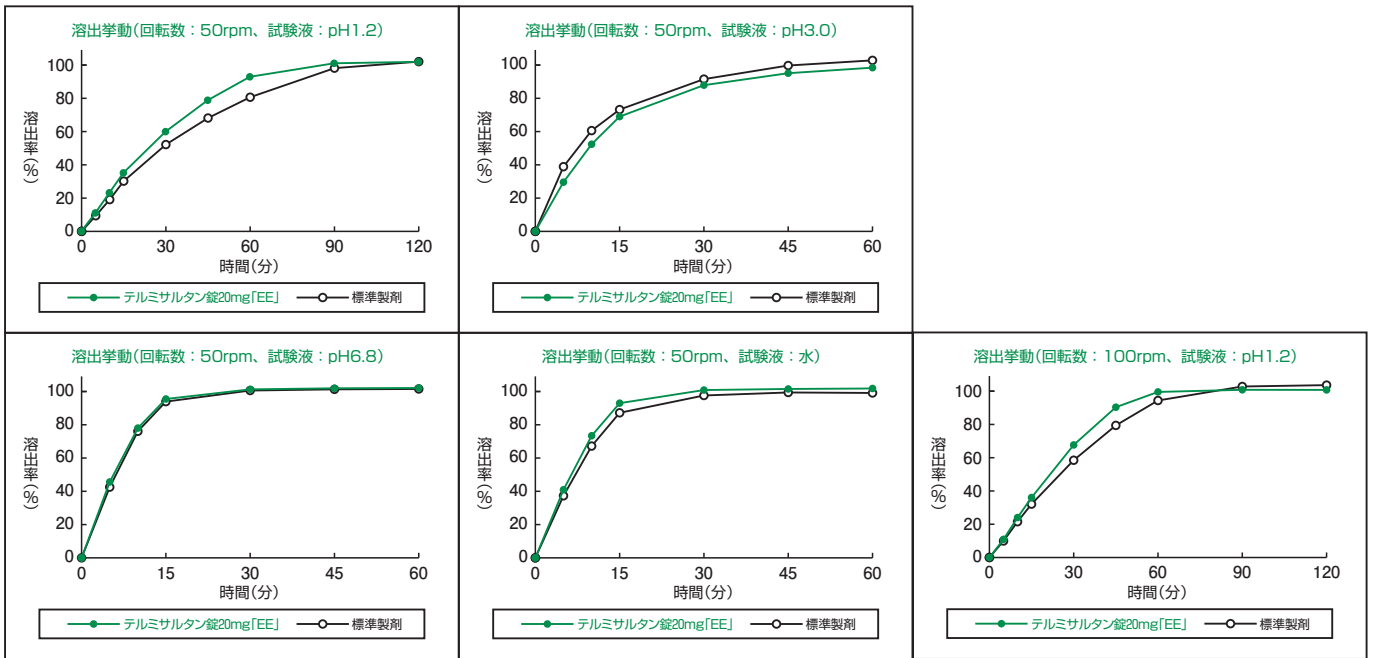
テルミサルタン錠20mg「EE」

●効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

〈生物学的同等性試験〉

「後発医薬品の生物学的同等性試験ガイドライン等の一部改正について（平成24年2月29日付、薬食審査発0229第10号）」の別紙1「後発医薬品の生物学的同等性試験ガイドライン」及び別紙2「含量が異なる経口固形製剤の生物学的同等性試験ガイドライン」に従って、溶出試験にて生物学的同等性を評価した。テルミサルタン錠40mg「EE」を標準製剤として試験製剤テルミサルタン錠20mg「EE」の溶出試験を実施した結果、標準製剤と試験製剤は溶出挙動が同等であったため、両製剤は生物学的に同等であると判断された。

●本剤と標準製剤の溶出挙動



〈公的溶出試験規格への適合性〉

日本薬局方テルミサルタン錠に従い試験するとき、30分間の溶出率が85%以上（回転数：50rpm、試験液：溶出試験第2液）であった。



処方箋医薬品：注意- 医師等の処方箋により使用すること
胆汁排泄型持続性AT₂受容体ブロッカー
日本薬局方 テルミサルタン錠

テルミサルタン錠40mg「EE」

●効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

成分名	テルミサルタン	規格	40mg 1錠	診療報酬上の区分	後発品
含量・性状	1錠中にテルミサルタン40.0mgを含有する白色～微黄白色の割線入りのフィルムコーティング錠である。				
添加物	カルナウバロウ、軽質無水ケイ酸、酸化チタン、ステアリン酸ポリオキシシル40、ステアリン酸マグネシウム、ヒドロキシプロピルセルロース、ヒプロメロース、マクロゴール6000、D-マンニトール、メグルミン				
承認年月日	2017年2月15日	薬価収載日	2017年6月16日	発売年月日	2017年6月16日
貯法	室温保存、開封後湿気を避けて保存すること。			薬価基準収載 医薬品コード	2149042F2048
製造販売元	エルメッド エーザイ(株)	販売提携	エーザイ(株)		
製剤の特徴	錠剤両面に成分名・含量・屋号を印字した白色～微黄白色の円形の割線入りのフィルムコーティング錠である。				

包装・容量
100錠 (PTP)
140錠 (PTP)
500錠 (PTP)
700錠 (PTP)
500錠 (バラ)

識別コード	外形		
	表	裏	側面
テルミサルタン 40 EE			
	直径 (mm) 約8.1	質量 (mg) 約173	厚さ (mm) 約3.5

〈安定性試験結果〉

試験方法	保存条件	包装形態	保存期間	測定項目	結果
加速試験	40℃・75%RH	・ PTP包装品 (PTPシート及び乾燥剤をアルミニウム袋に充てんし、紙箱に入れた状態) ・ バラ包装品 (錠剤を乾燥剤入りのポリエチレン容器に充てんし、紙箱に入れた状態)	6ヵ月	性状 確認試験 製剤均一性 溶出性 含量	いずれの測定項目とも規格値内であった。
長期保存試験	25℃・60%RH		12ヵ月 (継続中)	性状 確認試験 純度試験 製剤均一性 溶出性 含量	
苛酷試験	熱に対する安定性	40℃	3ヵ月	性状 純度試験 溶出性 含量 硬度*	
	光に対する安定性	1000lx (120万lx・hr)	50日		
	湿度に対する安定性	25℃・75%RH	3ヵ月		

*参考試験



処方箋医薬品：注意- 医師等の処方箋により使用すること
胆汁排泄型持続性AT₁受容体ブロッカー
日本薬局方 テルミサルタン錠

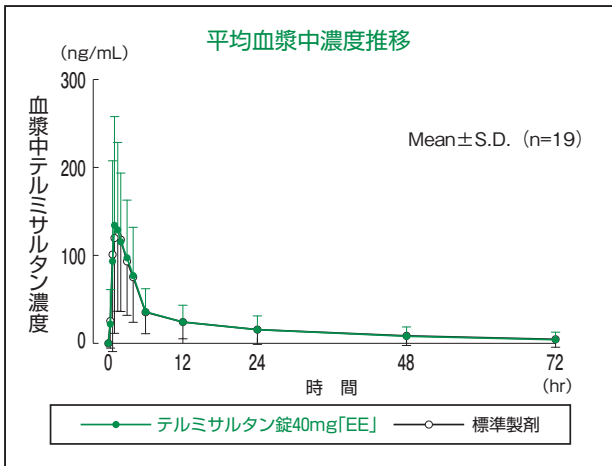
テルミサルタン錠40mg「EE」

●効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

〈生物学的同等性試験〉

「後発医薬品の生物学的同等性試験ガイドライン等の一部改正について（別紙1）（平成24年2月29日付薬食審査発0229第10号）」に従って、健康成人男性19名にクロスオーバー法にて本剤と標準製剤（同一成分含有錠剤）を1錠（テルミサルタンとして40mg）絶食下单回経口投与した。その結果、生物学的同等性の判定パラメータであるAUC_{0-72hr}及びC_{max}の対数値の平均値の差の90%信頼区間は、いずれも「後発医薬品の生物学的同等性試験ガイドライン」の基準であるlog(0.80)~log(1.25)の範囲内にあり、両製剤は生物学的に同等であると判断された。

●本剤と標準製剤を1錠（テルミサルタンとして40mg）投与時の平均血漿中濃度推移



	判定パラメータ		参考パラメータ	
	AUC _{0-72hr} (ng·hr/mL)	C _{max} (ng/mL)	T _{max} (hr)	T _{1/2} (hr)
本 剤	1344.1±1126.5	162.6±124.2	1.7±0.8	20.8±14.0
標準製剤	1356.3±1145.0	152.4±111.0	1.4±0.6	21.2±13.1

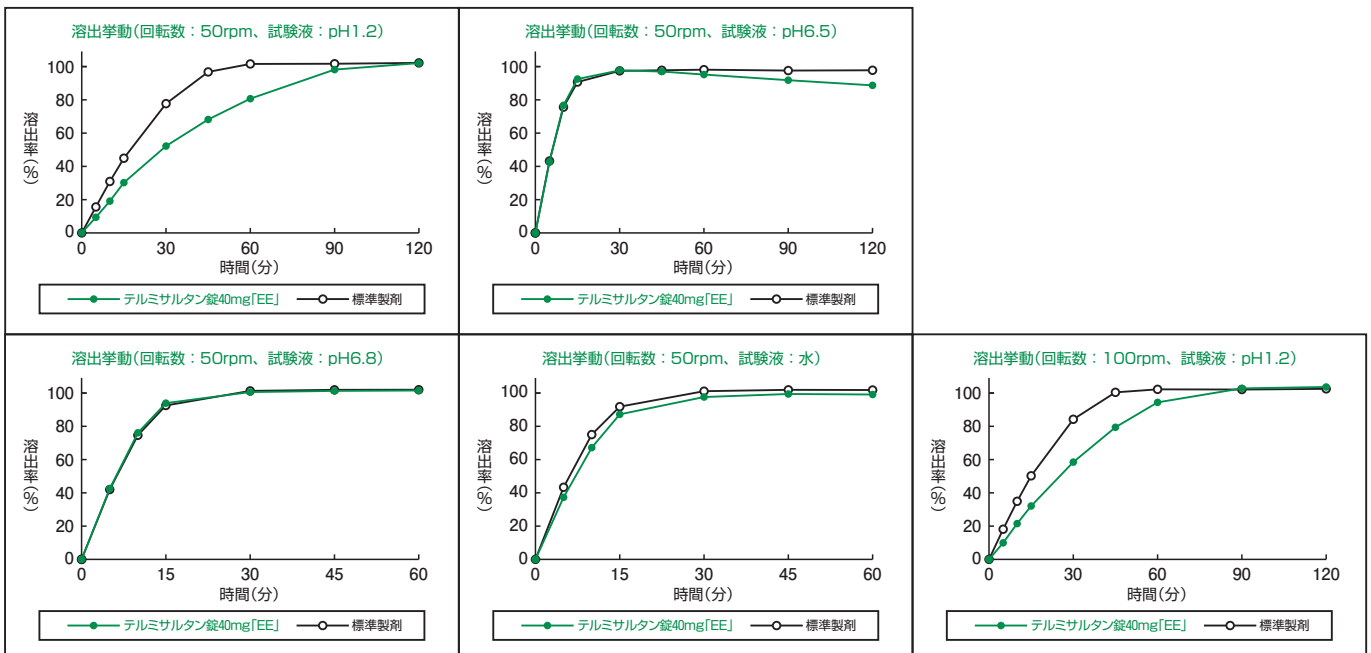
(Mean±S.D., n=19)

〈公的溶出試験規格への適合性〉

日本薬局方テルミサルタン錠に従い試験するとき、30分間の溶出率が85%以上（回転数：50rpm、試験液：溶出試験第2液）であった。

〈本剤と標準製剤の溶出挙動の比較〉

●「後発医薬品の生物学的同等性試験ガイドライン等の一部改正について（別紙1）（平成24年2月29日付薬食審査発0229第10号）」に従い実施した本剤と標準製剤の溶出挙動





処方箋医薬品：注意- 医師等の処方箋により使用すること
胆汁排泄型持続性AT₂受容体ブロッカー
日本薬局方 テルミサルタン錠

テルミサルタン錠80mg「EE」

●効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

成分名	テルミサルタン	規格	80mg 1錠	診療報酬上の区分	後発品	
含量・性状	1錠中にテルミサルタン80.0mgを含有する白色～微黄白色の割線入りのフィルムコーティング錠である。					
添加物	カルナウバロウ、軽質無水ケイ酸、酸化チタン、ステアリン酸ポリオキシシル40、ステアリン酸マグネシウム、ヒドロキシプロピルセルロース、ヒプロメロース、マクロゴール6000、D-マンニトール、メグルミン					
承認年月日	2017年2月15日	薬価収載日	2017年6月16日	発売年月日	2017年6月16日	
貯法	室温保存、開封後湿気を避けて保存すること。				使用期限	3年
製造販売元	エルメッド エーザイ(株)		販売提携	エーザイ(株)		
製剤の特徴	錠剤両面に成分名・含量・屋号を印字した白色～微黄白色の円形の割線入りのフィルムコーティング錠である。					

包装・容量
100錠 (PTP)

識別コード	外形		
	表	裏	側面
テルミサルタン 80 EE			
	直径 (mm) 約10.1	質量 (mg) 約344	厚さ (mm) 約4.5

〈安定性試験結果〉

試験方法	保存条件	包装形態	保存期間	測定項目	結果
加速試験	40℃・75%RH	・ PTP包装品 (PTPシート及び乾燥剤をアルミニウム袋に充てんし、紙箱に入れた状態)	6ヵ月	性状 確認試験 製剤均一性 溶出性 含量	いずれの測定項目とも規格値内であった。
長期保存試験	25℃・60%RH		12ヵ月 (継続中)	性状 確認試験 純度試験 製剤均一性 溶出性 含量	
苛酷試験	熱に対する安定性	40℃	・ 錠剤をガラス瓶に入れた状態 (密閉)	3ヵ月	
	光に対する安定性	1000lx (120万lx・hr)	・ 錠剤をガラス瓶に入れた状態 (密閉)	50日	
	湿度に対する安定性	25℃・75%RH	・ 錠剤をガラス瓶に入れた状態 (開放)	3ヵ月	

*参考試験

処方箋医薬品：注意- 医師等の処方箋により使用すること
胆汁排泄型持続性AT₁受容体ブロッカー
日本薬局方 テルミサルタン錠

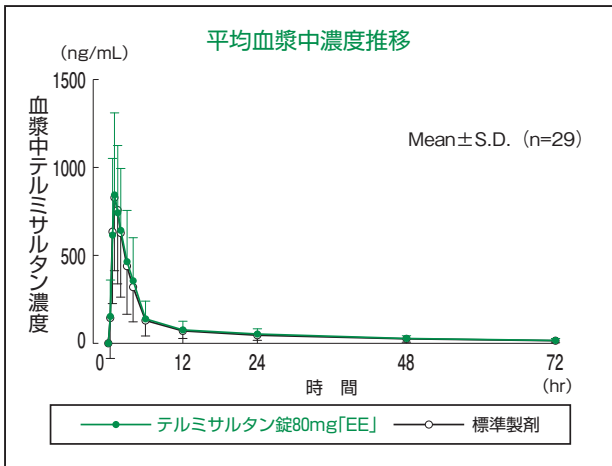
テルミサルタン錠80mg「EE」

●効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

〈生物学的同等性試験〉

「後発医薬品の生物学的同等性試験ガイドライン等の一部改正について（別紙1）（平成24年2月29日付薬食審査発0229第10号）」に従って、健康成人男性29名にクロスオーバー法にて本剤と標準製剤（同一成分含有錠剤）を1錠（テルミサルタンとして80mg）絶食下单回経口投与した。その結果、生物学的同等性の判定パラメータであるAUC_{0-72hr}及びC_{max}の対数値の平均値の差の90%信頼区間は、いずれも「後発医薬品の生物学的同等性試験ガイドライン」の基準であるlog(0.80)~log(1.25)の範囲内にあり、両製剤は生物学的に同等であると判断された。

●本剤と標準製剤を1錠（テルミサルタンとして80mg）投与時の平均血漿中濃度推移



	判定パラメータ		参考パラメータ	
	AUC _{0-72hr} (ng·hr/mL)	C _{max} (ng/mL)	T _{max} (hr)	T _{1/2} (hr)
本剤	5516.2±2882.0	1001.0±450.2	1.2±0.7	37.5±39.9
標準製剤	5144.4±2836.2	955.3±431.1	1.1±0.7	35.2±23.4

(Mean±S.D., n=29)

〈公的溶出試験規格への適合性〉

日本薬局方テルミサルタン錠に従い試験するとき、30分間の溶出率が85%以上（回転数：50rpm、試験液：溶出試験第2液）であった。

〈本剤と標準製剤の溶出挙動の比較〉

●「後発医薬品の生物学的同等性試験ガイドライン等の一部改正について（別紙1）（平成24年2月29日付薬食審査発0229第10号）」に従い実施した本剤と標準製剤の溶出挙動

